

8 / 3 校長室より No.63

夏休みに入ると、教職員は研修が続きます。昨日、私は「西置賜地区校長会研修会」に参加してきました。講師はTBSグループユニバーシティ室（テレビ局TBSの中にある主に社会人向けの大学）にお勤めで、東京大学大学院で非常勤講師もなさっている丸山拓氏。ジャーナリストの目から見た日本の教育について「これから未来を創る子どもたちに伝えるべきこと、伝えたいこと」と題して講演いただきました。

その中で、子どもたちに付けたい力として挙げたのが、①寄り道すること(失敗することもある「寄り道」)、②何か一つでいいから自信をつけること、③コミュニケーション能力 の三つでした。特に③に関わって紹介された言葉が印象的でしたのでお伝えします。

行動しなさい

関わりなさい

あなたの学校や地域に初めて来る人に微笑みなさい

そういう小さな事で世界は良くなります

(第二次大戦中、ナチスドイツのホロコーストを生き抜いた
ユダヤ人アーカン・エルスターの言葉)



※写真は、上の文章と直接は関係ありません。